

～支え合って10年～

2000年10月、県下第2号のファミリー・サポート・センターとして秦野の地に誕生し、今年で10年目を迎えました。

地域や家族のつながりが希薄になったと言われる昨今ですが、「手を貸して下さい」と、飛び込んで来られる依頼会員さんを温かく丸ごと受け止め、わが子・わが孫・わが家族のように支えて下さる支援会員さんとの出会い……。人と人の信頼が子育て中のご家族の安心に変わり、地域の中で支えあいの輪が広がる喜びを目の当たりにする10年でもありました。

日々様々な依頼が増えていますが、「お手伝いしますよ」の支援会員さんの声を大切に、依頼会員さんの気持ちに寄り添い、利用しやすいファミリー・サポート・センターを目指し、スタッフ一同努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

～感謝と笑顔のお付き合い～

2人とはデートの回数が一番多いので、まるでバアバと孫のようです。泣き顔も笑顔も最高の癒しで、私にはアンチエイジングー!! (笑)

支援会員 Oさん

実家が遠いので度々お世話になっています。ただ、子供を預かるだけでなく、子育ての相談にものってもらえるので大変心強いです。

依頼会員 Nさん

サポート中お邪魔しま～す

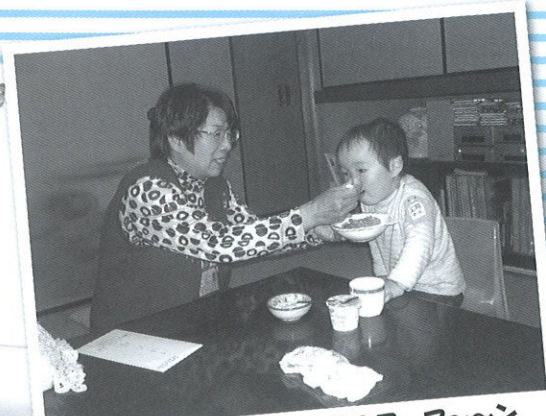


～Nさんより～
記憶カバツグン!
エクボの可愛い
K君、パパとママ
の愛情がたっぷりです。

保育園にお迎えで～す



大好きな「ウィッツ」に乗って
Let's Go!



K君ごはんよ～ 大きなお口、ア～ン



フーさんのクッキー
おいしいね



ママ、おかえり～!



ありがとうございました。
来週もよろしくお願ひします。

～ママより～
いつも助けて頂い
て心強い存在です。
家族ぐるみでお世
話になっています。

支えあう子育て支援

秦野市障害福祉課保健師 大澤 由香

何らかの理由で子育ての支援を必要とする人がいます。その支援はママのリフレッシュなど一時的な支援から、お子さんが子育てをするまでの長期的な支援まで、ご家族の状況に応じてさまざまです。私たち障害福祉課では、身体・知的・精神障害を持つ方の相談を受けています。相談者には出産時の異常で障害を持つ方、障害を上手に乗り越えて出産された方、子育て中に障害を持った方もおり、支援の内容はその方・その家族で異なります。

私たちは「こんな依頼は出来るのかな?」と悩んだ時はファミリー・サポート・センターのアドバイザーさんに相談をもちかけます。反対にアドバイザーさんからは、依頼会員の「～してほしい」に、どのように支援したらいいのかと相談を受けています。

前述したとおり子育て支援と言っても、その方・その家族によって支援内容は異なります。支援に悩んだ時は是非アドバイザーさんに気軽にご相談して下さい。アドバイザーさんは行政の相談機関とともにそのご家族にあった支援の検討をします。障害福祉課はその相談機関のひとつです。支えあう子育て支援となりますように、これからもよろしくお願い致します。

支援会員さんの 依頼会員さんの こんな時どうする?

諸事情で、Y君の支援を代わって頂く時は悩みながら事務局に連絡。早い対応で代理の方も見付き、Y君も落ち着いていると知って安堵。両会員の皆様、困り迷った時はまず相談!! そっと背中を押して下さいませよ。

支援会員 Tさん

3人目出産の際、手伝いに来る母が車の運転が出来ない為、保育園と習い事の送迎を依頼しました。私たちの心配をよそに、子どもたちは4人の支援会員さんと楽しい時間を過ごせたようです。勇気を出してお願いして良かったです。

依頼会員 Iさん

サポートをしていく中でご都合が悪くなった時はいつでもご相談下さい。こちらでご負担の無いように対応させて頂きます。ご安心下さい!!

ご出産を含め、急なご依頼にも対応させて頂きます。まずはセンターにご相談下さい。